

宇都宮市立富屋小学校（第４・５学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
めあての提示文・言葉の吟味	めあてと学習問題は区別するために提示文の言葉を吟味して、焦点化された目当てを提示する。	「授業では、授業の目標（めあて・ねらい）が示されている」の質問に肯定的に回答した児童の割合が、４・５年生ともに県・市の平均より大きく上回っている。
課題に対する考えの足跡が残るようなノート指導（板書）	発達の段階に応じたノート指導を行い、各教科の授業の中で自分の考えを書く活動を意図的に取り入れている。また、思考の道筋が分かる板書計画と実践（模造紙を活用して教室に掲示し、授業の流れの可視化を図る。）	「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」の質問に肯定的に回答した児童の割合が、４・５年生ともに県・市の平均より上回っている。
授業におけるまとめ・振り返りの充実（自分の言葉で文章表現させる。）	授業の最後に、本時の課題に対するまとめを板書して全員で確認し、一人一人が分かったことなどを振り返り、ノートに自分の言葉で文章表現する時間を設けている。	「授業の最後に、学習したことをふり返る活動をよく行っている」の質問に肯定的に回答した児童の割合が、４・５年生ともに県・市の平均より大きく上回っている。